

所管する一ノ関自動車営業所を一ノ関市に設置している。

1 区間・キロ程および沿革

一ノ関・花泉・千厩	41 km	昭 27・ 9・ 1 開業
大門前・有壁	3	昭 27・ 9・ 1
一ノ関・薄衣・千厩	27	昭 27・ 9・ 1
薄衣・陸中門崎	2	昭 27・ 9・ 1
一ノ関・槻木平	30	昭 27・ 9・ 1

2 営業範囲

小荷物および貨物の運送営業を行っている。

3 接続駅および業務委託駅

(1) 接続駅

一ノ関、陸中門崎、千厩、有壁、花泉

(2) 業務委託駅

岩手七

日町、岩手藤沢、厳美。

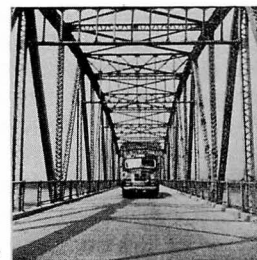
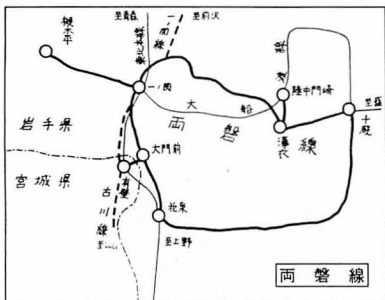
4 使 命

地方産業の開発助長を目的に開設された貨物路線で、通年運転を確保している。

5 特 長

この路線はほとんどが山間地で、林産資源に恵まれ木材・薪炭の輸送が多い。(福田幸子)

りょうびせん 両備線 岡山市・岡山県浅口郡金光町間および



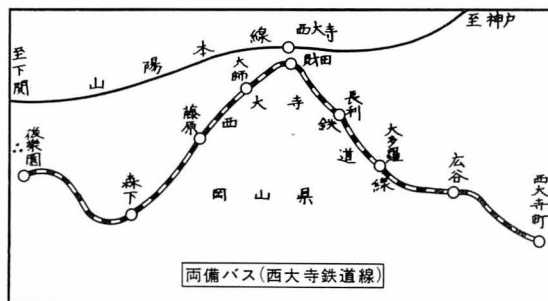
両備線玉野市霞橋

復、そのうち快速便 14 往復を運転している。沿線には西洋美術の殿堂大原美術館(倉敷市)、芸術的民芸品数千点を有する倉敷民芸館、酒津公園(倉敷市)があり、金光町には金光教の本部がある。岡山・矢掛間は普通乗車券および回数乗車券所持の旅客に対して、井笠鉄道株式会社と、岡山・金光間は両備バス株式会社とそれぞれ相互乗車の取扱をしている。(可野虎男)

りょうびバス 両備バス

1 事業者の概要

名称 両備バス株式会社、本社 岡山県西大寺市西大寺、資



本金 4,000 万円、おもな事業 地方鉄道、一般乗合旅客自動車運送 101 km、鉄道従事員 36 人、保有車両 内燃動車 9、客車 21、貨車 15 両。

沿革 明治 43・7・2 西大寺鉄道株式会社設立、同 44 年西大寺財田間 5.5 km を創業、大正 4 年全線開通。昭和 30・10・1 両備バス株式会社と合併現在に至る。昭和 22・11 から自動車運送事業開始。

2 地方鉄道線 西大寺町・後楽園間(岡山市) 11.4 km 単線、動力蒸気・ガソリン、軌間 0.914 m、旅客・貨物輸送を目的とする。明治 40・9・7 および大正 3・9・22 免許、明治 44・12・29 から大正 4・9・14 ままでに逐次開業、国鉄と連絡運輸をしていない。

3 運輸の特質 毎年旧正月 14 日には、西大寺観音(西大寺市駅下車)へ全国から数万人の旅客が集まり、この輸送のためとくに多くの車両を必要とされている。

4 運輸概況

年	昭和 28	29	30
項 目			
旅客輸送人員(千人)	1,242	1,200	1,232
人 キ ロ (千)	8,266	7,703	8,122
貨物輸送トン数(千 t)	2	1	1
ト ン キ ロ (千)	10	9	8
旅 客 収 入 (千円)	19,400	17,804	18,447
貨 物 収 入 (〃)	2,062	1,898	1,818
運 輸 雑 収 (〃)	31	769	259
収 入 合 計 (〃)	21,492	20,470	20,523
営 業 費 (〃)	21,580	18,854	16,455
営 業 利 益 (〃)	△ 88	1,616	4,068
営 業 係 数 (%)	100	92	80

(原 功)

りょうもうせん 両毛線 東北本線小山駅から上越線新前橋駅に至る 91.7 km の線。東北線に属し線路等級は乙線である。



同県小田郡矢掛町、同県都窪郡茶屋町間を結ぶ国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は倉敷市に、同支所は岡山市にある。

1 区間およびキロ程

両備本線 岡山・金光	37 km
倉敷線 倉敷・茶屋町	7
矢掛線 倉敷・矢掛	23
二万口・上二万	5

2 沿 革

両備本線 岡山・倉敷	昭 12・ 3・28 開業
倉敷・金光	昭 27・ 1・21
倉敷線 倉敷・茶屋町	昭 8・ 3・30
矢掛線 倉敷・矢掛	昭 16・ 6・ 7
二万口・上二万	昭 31・ 4・ 1

3 営業範囲

倉敷・金光間は旅客にかぎり取扱っているが、その他の区間は旅客・手小荷物および貨物の取扱をしている。

4 使 命

山陽本線と宇野線の短絡および鉄道の補助的

使命を有するほか、都市交通の使命をも有する。

5 特 長

玉島・倉敷・岡山間および倉敷・茶屋町を結ぶ都市交通で交通量多く、岡山・倉敷間は 1 日の運転回数 70 往